

# 関川 河道掘削の推進

（今池地区）新潟県上越市

## 1. 事業の概要

関川においては、これまでの度重なる水害を受け、堤防整備を進めてきましたが、国管理区間上流部では洪水の安全な流下に必要な断面が不足する区間があり、戦後最大規模の洪水が発生した場合に計画高水位を超過するため、堤防決壊の恐れがあります。

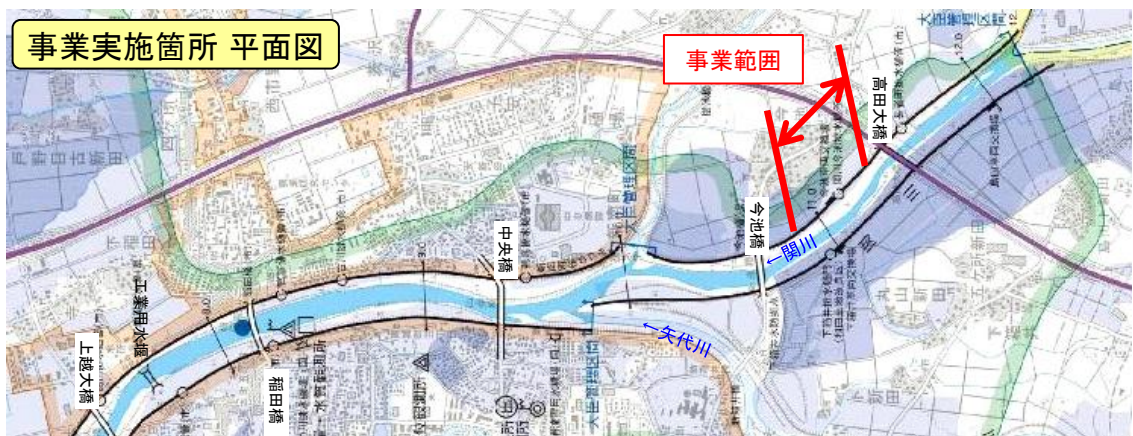
堤防決壊による浸水被害を防止するため、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」※の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」の一環として、河道掘削を実施し、早期に治水安全度の向上を図るものです。

## 2. 整備効果

河道掘削の実施により、戦後最大規模の洪水を安全に流下させることが可能となります。

## 3. 平成29年度の事業内容

背後が市街地となっている今池地区において、河道掘削を推進します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- ▶ 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- ▶ 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- ▶ 詳細は右記にてご覧いただけます [http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03\\_hh\\_000899.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html)